

広 報 く に み

KUNIMI

6

2023

No. 599

Cover

今月の表紙は、国見小学校農業体験学習の様子です。
国見小学校5年生の「田植え体験」が、国見小学校の学校
田で行われました。参加した児童たちは、泥に足を取られ
ながらも一生懸命に手植えを体験。泥だらけになりながら
も「とても楽しかった!」と満面の笑顔を見せてくれました。

Contents

- 02 … 移住定住に関する支援制度
- 04 … 国見小学校大運動会
- 06 … 鳥獣被害対策アドバイザー
- 10 … まちのわだい
- 16 … まちの情報ボックス

ほか



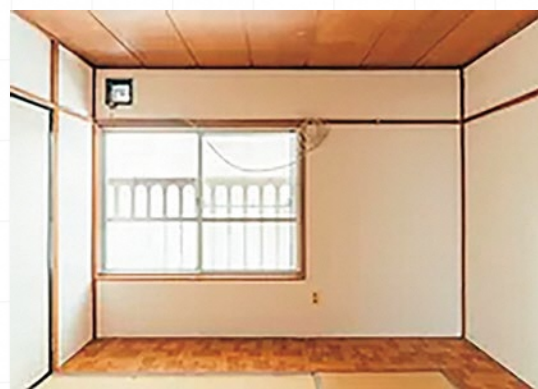
働きながら住める あたらしい働き方ができるまち

空き部屋になっていた町営住宅の大坂団地5号棟（4戸）が「大坂オフィス」に生まれ変わります。現在、工事を進めていて、今年の夏ごろに完成予定です。

大坂オフィスでは、オフィスとして利用したい町外の事業者を募集しています。

- テレワークで利用したい
- 何人かでオフィスをシェアしたい
- 都市部に拠点を置く企業のサテライトオフィスにしたい

など、さまざまな働き方に対応できます！



室内はDIYで
お好きな空間に
アレンジできます！



詳しくはこちら
「おおさかのおか」

使用料

1・2号室 **37,000円/月**（内装仕上がり有）

3・4号室 **22,000円/月**（内装仕上がり無）



空き家の活用

今年度はまちなかインキュベーション事業として、商店街などのまちなかの空き家の活用を検討していきます。

『Co-working&Co-learningSpace アカリ』や『大坂オフィス』などと連携し、まちなかエリアのにぎわい創出につなげられるよう取り組んでいきます。

空き家を所有している方で、活用にご協力いただける方は企画調整課までお知らせください。

※インキュベーションとは？

⇒卵が孵化するという意味。
起業する人への支援を行うこと。

問い合わせ

国見町
企画調整課過疎対策係
☎ 585-2160



プロモーション・情報発信

町に興味を持ってもらうきっかけとなるよう製作した、短編作品「ふたつの空と」や「国見ショートクリップ」など、動画によるPRを行っています。

また「国見町魅力発信ポータルサイト」を開設しました。今後も町の魅力や情報などを掲載し、サイトの充実に取り組んでいきます。

さらに、昨年度から検討を進めている国見版CI（コーポレート・アイデンティティ）の策定も引き続き行い、町のスローガンやロゴデザインを検討し、町の認知度・価値の向上やPRを行っています。



国見町公式短編作品
「ふたつの空と」
Instagramでの情報
発信も行っています。



魅力発信ポータルサイト
国見町の魅力や情報など
が盛りだくさん！
町の誇りを紹介します。

国見町は

移住・定住を希望する

みなさんへの

支援を行っています



国見町の現状は――

国見町の人口は昭和25年をピークに、高度経済成長期の都市部への一極集中の影響を受け、減少に転じました。その後、昭和46年からの第2次ベビーブーム以降、石油危機やバブル崩壊などのマイナス要因が起きましたが、平成7年までは1万2千人前後と横ばいで推移し、それ以降は減少が続いています。

くくみぐらしをお手伝い――

町では、これまでも移住・定住や関係人口を増やすための取り組みを行ってきましたが、昨年度、町内全域が過疎指定を受け「国見町過疎地域持続的発展計画」を策定しました。「第6次国見町総合計画」や「過疎計画」に基づき、今後もより一層の移住・定住や関係人口を増やす取り組みが必要となっています。

今年度は、移住者に対する各種助成金制度の整備やリモートオフィスを整備し、多様な働き方に対応できる環境作りを行っています。

また、ポータルサイトやSNSを活用した情報発信にも力を入れています。



移住に関する支援

国見町移住支援金

東京圏から国見町へ移住した方で、就業に関する要件に該当した場合、移住支援金を交付します。

単身世帯 **60** 万円

2人以上の世帯 **100** 万円

18歳未満の子ども1人につき30万円の加算

- 結婚新生活を応援する補助金も！（詳細は6Pへ）

※移住や就業について要件が規定されています。
詳細については町ホームページをご覧ください。

農業をはじめの方への支援

町外から移住する
新規就農者 **100** 万円を貸付

農地取得、農業資材・機械等の購入、住居確保など
くくみ農業ビジネス訓練所長期研修生は最大 **150** 万円

- 貸付には就農計画の認定が必要です。
- 就農計画に沿って5年後も継続して就農している場合は返済免除。

問い合わせ 産業振興課農林振興係
☎ 585-2986

雨にも負けず、あふれる笑顔。 国見小学校大運動会

国見小学校大運動会が5月20日に開催されました。小雨が降るあいにくの天気でしたが、終盤には雨も上がり、元気いっぱいの子どものたちの歓声が校庭に響き渡りました。
 今年から参観制限がなくなり、観覧場所には子どもたちの頑張る姿を一目見ようと、多くの保護者が詰めかけました。



国見町を盛り上げるイベント——

くにみロゲイニングを開催しました！

4月29日に、「くにみロゲイニング」を開催しました。

ロゲイニングとは、地図をもとに決められた時間内に町のチェックポイントを巡りながら、それぞれのスポットの魅力を体験していくイベントです。今回は、村上笑平さん（県北中学校3年生）と桜澤来楠さん（県北中学校2年生）が中心となり、企画・運営を行いました。



桜澤来楠さん（左）・村上笑平さん（右）

開催に向けて、生徒たちは担当スタッフと一緒に町内を何度も巡り、国見町にある魅力について議論を重ねました。参加者にイベントを楽しんでもらいつつ、魅力を体験してもらうためには、どのような企画を織り込むと良いか。国見町の魅力と、参加者への思いを常に持ちながら、思考を巡らせてきました。



いよいよ本番。当日は、町内外から33名の方が参加しました。参加者の中には、富山県や静岡県などの遠方から参加した方や家族連れで参加している方も。今回は50か所のスポットと4つの仕掛けを用意し、約3時間かけてロゲイニングや国見町を楽しんでもらいました。



イベント満足度は平均9.6点（10点満点）。アンケートでは、「また国見町を訪れたいと思いますか？」という質問に92%の方が「そう思う」と回答しました。
アンケートの回答や当日の様子から、参加者が自分のペースで思い思いに国見町を歩き、「国見ならでは」を堪能していたことが伺えました。

今回のプロジェクトに取り組むにあたり、国見町に対する理解はもちろんのこと、イベントをとおりて何を伝えたいのか、どんなことを実現したいのかなど、たくさんの試行錯誤を重ねてきました。時には思うようにいかず、苦しいこともありましたが、それらを乗り越え、生徒たちは大きく成長したように思います。挑戦するからこそ感じられる醍醐味を存分に味わっていました。

最後になりましたが、国見町商工会青年部、道の駅国見あつかりの郷の皆さまには、開催に際し多大なご協力をいただきました。この場をお借りし、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

当日の詳細な様子はコチラのQRコードから▶



放課後塾ハルは随時、新規入塾者を募集しています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

Email:houkagojuku.halu@gmail.com
TEL: [中学部] 080-7236-6232 / [小学部] 080-9151-6442
※12:30～21:30 土日祝日、年末年始を除く。

野生動物との共存を目指して 地域の未来をともに考える——



国見町では、深刻化するイノシシ・クマ・サルなどの野生動物による農作物被害に対して実効的な対策を行うため、鳥獣被害対策アドバイザーを依頼し助言指導を受けることにしましたのでご紹介します。
※鳥獣被害対策アドバイザーには実態調査を依頼しており、鳥獣被害の想定される農地や侵入防止柵周辺の山林に立ち入る場合があります。



かさなりデザイン合同会社
代表社員 鈴木 淳

町のみなさんへ

令和5年度から、町の鳥獣被害対策アドバイザーを務めることになりました「かさなりデザイン合同会社」の鈴木淳です。東北各地で、鳥獣被害対策の現地指導や集落の合意形成、行政支援などに携わっています。

鳥獣被害対策は、相手（鳥獣）の生態や対策方法を理解した上で取り組む必要がありますが、さらに、皆さんが「この地域でどのように生活していきたいか」「守りたい場所はどこなのか」といった、地域の将来像と一緒に考えていくことが大切です。

現場で見かけた時は、気軽に声をかけてくれるとうれしいです。
国見町の将来を考えて、皆さんと一緒に取り組んでいきましょう。

上限額を引き上げました!!

結婚新生活を応援します

福祉課社会福祉係 ☎ 585-2793



■対象者（次の要件をすべて満たす人）

- ①令和5年1月1日から令和6年3月31日までに婚姻届を提出し、受理された夫婦
- ②婚姻日における年齢が夫婦ともに44歳以下
- ③令和4年1月1日から令和4年12月31日までの夫婦の合計所得が500万円未満（離職した場合、貸与型奨学金の返済を行っている場合は、算出方法が異なります）
- ④対象となる住居が国見町内にある
- ⑤夫婦の住所が対象となる住居にある
- ⑥町税等の滞納がない
- ⑦他の公的制度による家賃補助を受けていない
- ⑧過去にこの制度に基づく補助を受けていない

■対象経費（対象となる経費は次のとおり）

- ※他の公的支援等を受けているものは対象外
- ①住居費 婚姻を機に新たに住宅を取得する費用または住宅物件の賃借に係る賃料等
 - ②引越費用 引越し業者または運送業者への支払い等引越しに係る実費
 - ③リフォーム費用 婚姻に伴う住宅の維持または向上のための修繕、増築等に係る経費

■補助金額

対象となる経費の合計額とし、婚姻日における年齢が夫婦ともに

29歳以下 ⇒ 上限 75万円
30歳以上 44歳以下 ⇒ 上限 45万円

※令和5年1・2月婚姻の場合 ⇒ 上限 45万円

■必要書類

- ・交付申請書
 - ・婚姻届受理証明書または婚姻後の戸籍謄本
 - ・所得・課税証明書 ほか
- ※その他、条件により必要な書類が異なります。

■申請受付期間

令和6年3月31日まで

■申請方法

申請に必要な書類を添付して、福祉課社会福祉係へ提出してください。

※詳細は町HPをご覧ください。福祉課社会福祉係へ問い合わせください。



国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



Vol.72

どうなった？「歴史を活かしたまちづくり」

■国見町歴史的風致維持向上計画（歴まち計画）とは

国見町は、平成 27 年 2 月 23 日に東北地方の町村では初めて、国から歴まち計画の認定を受け、歴史を活かしたまちづくりを推進してきました。

計画は、地域に残る固有の人々の活動と、その活動が行われる歴史的価値の高い建物や市街地の環境を一体的に「歴史的風致」と定義し、それらを維持向上するための計画です。計画では 7 つの歴史的風致を認定し、ソフトやハードの 15 事業を予定しました。

■歴史まちづくりの成果は？

主な成果は、阿津賀志山防塁の追加指定、国登録有形文化財 2 件の追加、あつかし歴史館、あつかし千年公園のオープン、建造物の悉皆調査、歴史文化基本構想策定などに取り組み、当町における歴史の新たな価値付けと歴史を活かした交流の場を創出しました。また、歴史に関するイベント、歴史読本作成・活用、各歴史や文化団体の支援などに取り組み、郷土史への意識向上と地域の賑わい、郷土愛の醸成に寄与してきました。

なお、詳細な事業の進行管理と評価は、毎年有識者による協議会で審議・承認し年度ごとにホームページで公開しています。

■令和 4 年度「歴まち計画」の変更について

昨年度、協議会の承認を得て計画の大きな変更をしました。主な変更の概略は以下のとおりです。

- ①奥山家住宅の周辺整備を計画していましたが、地震被害により住宅の復旧工事を優先したため、今計画期間中の周辺整備事業は取り止めとしました。
- ②阿津賀志山防塁国道 4 号北側地区の園地整備とアクセス道の整備を計画していましたが、国道 4 号拡幅工事により歩道などが整備予定となり、計画の必要性がなくなったため、事業の取り止めとしました。

■どうする？ 今後の「歴史まちづくり」

現在の計画は、令和 6 年度に終期を迎えます。計画の成果を総括し、今後の「歴史まちづくり」をどのように進めるのか、これからさらなる議論が必要になります。町では多くの方に歴史まちづくりに関わっていただきたいと考えています。町民の皆さまからもぜひ意見をお待ちしています。



5月5日「あつかし歴史館こどもの日」のイベントでは多くの子どもたちの歓声が響きました



あつかし千年公園の中尊寺ハスは、毎年多くの方が訪れる国見町の観光スポットとなりました



文化財の新たな活用も始まっています

あつかし歴史館インフォメーション



第 2 回歴史ウォーク開催！

5月3日、晴天のもと第2回歴史ウォークを開催しました。231名があつかし山頂上を目指す 10 km のコースに挑みました。頂上では「カフェ」のおもてなしもあり、参加者全員が完歩しました。



原田 つむぎ
(Tsumugi Harada)

— Activity Report —

地域おこし協力隊活動日記

Vol. 34

国見町の魅力を発信——

こんにちは。地域おこし協力隊の原田つむぎです。4月から、関係人口創出というミッションのため着任しました。

まだ国見に来てから日が浅いので、国見町を知るためにまちに繰り出して実際に魅力を体感し、それをどのように届けていくか考える日々を過ごしています。

現在は「エリアデザインラボ」の準備や、Instagram を使って国見を発信する企画を練っている最中です。



4月から着任した関係人口創出チームのふたりです！
今後ともよろしくお願いいたします。



エリアデザインラボは今年で 4 年目を迎えます

どちらも、時間をかけて国見のまちについて思考・実践したり、地元の人にしか分からないような国見の細かな良さを広めたりと、じっくり国見と関わることでできる機会になるのではないかと思います。ぜひ、どちらにも注目していただけたらうれしいです！



越前 晴翔

【たくさんのさくらの花】



【花びらがまうさくらの木】
渡邊 旭柊



富野 心琴

【きれいなさくらの下】



比金 日向

【青空にうかんで見えるさくら】

国見小学校（4年生）

心やなみオたち

交通事故ゼロを目指して 春の全国交通安全運動

春の全国交通安全運動出動式が5月10日、桑折町役場で行われました。式の後には、道の駅国見あつかしの郷で交通安全啓発活動が行われ、引地真町長ら関係者が参加。道の駅利用者に啓発グッズを配りながら、交通事故防止を呼びかけました。

また、「交通事故死ゼロを目指す日」の5月20日にも、町交通安全関係団体が道の駅で交通安全を呼びかけました。



道の駅利用者に交通事故防止を呼びかけました



甘く優雅な香りを放ちながら人々を魅了しました

風に揺れる紫色のカーテン 満開に咲き誇る深山神社の大藤

町天然記念物に指定されている深山神社の大藤が今年も見事に咲き誇り、町内外から訪れた多くの人で賑わいました。境内の大樫に巻き付いた大藤は、毎年5月の中旬頃には滝のように咲き乱れ、人々を魅了します。

今年は例年よりも少し早く4月中に満開を迎えた大藤。訪れた人たちは、カメラを片手に思い思いの場所を探し、満開の大藤を見上げて写真撮影をしていました。

保護者と町の連携協力のために 町幼小中学校 PTA 連絡協議会が要望書提出

国見町幼小中学校 PTA 連絡協議会（齋藤仁志会長）は5月11日、「くにみ学園に関する要望書」を町と町教育委員会へ提出しました。

要望書は、くにみ学園構想を検討していくにあたり、子どもたちが学びやすい学習環境づくりを第一に考えるとともに、保護者への丁寧な説明と意見交換の機会を要望したものです。



要望書を手渡す PTA 連絡協議会役員の皆さん



1 億円分の紙幣の見本を持ち上げる児童

税の役割を正しく理解 国見小学校で租税教室

租税教室が5月1日に国見小学校で開催され、6年生の児童たちが税金について学びました。

租税教室では、町税務課職員が講師となり、税金の使い道や大切さなどを児童たちに説明しました。また、約10kgの1億円分の紙幣見本が用意され、手にした児童からは「1億円は意外と軽かった」という感想が聞かれました。児童たちは、税金は暮らしを支える身近な会費のようなものと実感していました。

野菜の栽培技術を学ぶ くにみ農業ビジネス訓練所短期研修

くにみ農業ビジネス訓練所短期研修「野菜栽培の実践」が5月17日、13人の受講生が参加し開講しました。

第1回目は元福島県農業試験場職員の大和田清三さんを講師に迎えて、「夏野菜づくりの準備」をテーマに野菜栽培の実践について研修を行いました。参加者は夏野菜の種類や植え付けの方法など、実践的な農業技術を学びました。短期研修は農業簿記なども含め、年21回の座学研修も行っています。



野菜栽培の方法を熱心に聞く受講生たち



行政相談制度の説明を行う羽根田ヒサさん

行政相談ってなんだろう？ 国見小学校で行政相談出前授業

行政相談出前授業が5月2日に国見小学校で開催され、6年生の児童たちが日常生活と行政の関わりについて学びました。出前授業では、町の行政相談員の羽根田ヒサさんらが講師となり、行政の役割や行政相談員の仕事について、クイズや具体例を交えながら説明。行政などへの意見・要望を受け付ける行政相談制度を身近に感じてもらうことで、制度の積極的な利活用を求めました。

交通ルールを守りましょう くにみ幼稚園で交通安全教室

交通安全教室が5月22日、くにみ幼稚園で開催されました。それぞれのクラスごとに、信号機の見方や横断歩道の渡り方を学びました。その後、年少組は園の敷地内で一列に並んで歩く練習をしたり、年長・年中組は交通安全母の会の皆さんと一緒に道路に出て、歩道の歩き方や横断歩道の渡り方を実践しました。園児たちは左右をしっかりと確認し、まっすぐに手を挙げて道路を横断していました。



道路を横断する前には右・左・右



「天のつば」の苗を丁寧に植える児童たち

青空のもとで田植え 国見小学校農業体験学習

国見小学校5年生の児童たちは5月9日、農業体験学習の一環として田植えを行いました。

当日は、小坂アグリ株式会社や県北農林事務所伊達普及所、JAふくしま未来国見営農センターの協力のもと、児童たちはぬかるむ足元に悪戦苦闘しながらも、一つひとつ丁寧に「天のつば」の苗を植えていました。秋には稲刈り体験も予定していて、収穫した米は調理実習でおいしくいただきます。



ニコニコ相談会

- 実施日** 8月23日(木)
- 時 間** 午前10時～午前11時
- 会 場** 子育て支援センター(藤田保育所内)
- 対象者** 国見町在住の妊婦
国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物** 母子健康手帳、子どもの飲み物
- 申込み** 前日までにほけん課保健係または藤田保育所(☎585-2374)へ連絡

乳児健診

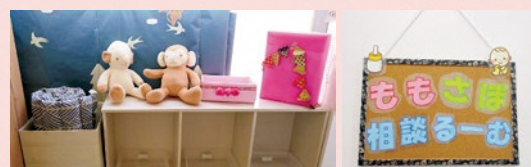
- 実施日** 8月24日(金)
- 受付時間** 午後1時15分～午後1時45分
- 会 場** 観月台文化センター 第1和室
- 対象者** 3か月児(令和5年4月生まれ)
9か月児(令和4年10月生まれ)
- 持ち物** 母子健康手帳、オムツなど
- 内 容** 医師の診察、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて

3歳6か月児健診

- 実施日** 8月17日(木)
- 受付時間** 午後1時30分～午後1時45分
- 会 場** 森江野町民センター
- 対象者** 令和元年11月1日～
令和2年1月31日生まれ
- 持ち物** 母子健康手帳
- 内 容** 医師の診察、身体測定、視力・聴力検査など

『ももさぽ』相談るーむ

役場の1階にあります。妊娠中のことや育児のことなど、助産師、栄養士、子ども家庭支援員と気軽にお話しできる部屋です。(ほけん課保健係にお声掛けください)



公立藤田総合病院院長
近藤 祐一郎 先生

院長先生の診察室から

【第19回】

新 緑がまばゆい季節になりました。梅雨前のこの時期は空気が透き通った感じがして、私は大好きな季節です。皆さんはいかがでしょう？

4月には、公立藤田総合病院に新しい職員が31名就職したことは前回お話ししました。その中でも、医師が3名(整形外科1名、総合診療科(内科)2名)増えたことは、とても喜ばしいことです。福島県の医師不足は深刻で全国42位です。私たちは初期臨床研修病院として、医学教育にも取り組んで来ましたが、福島医大学生の地域医療体験実習では地域の皆さんの協力を頂き、今年度研修医は6名を採用することができました。若い職員が多数入職することは病院にとって素晴らしいことであり、さらに地域の活性化に貢献するであろうと期待しています。

コロナ感染症のピークは過ぎたように思われます。数年間、健康診断を受ける事ができなかった皆さんも多いのではないのでしょうか？今年は町の健康診断やがん検診を受けるようにお勧めします。藤田病院では精密検査が必要とされた方の予約を受け付けておりますので、ぜひご利用下さい。

日頃の健康管理や医療機関での通院治療は、コロナウイルス感染症発生前と同様に、しっかり行うようにしましょう。いろいろな病気がありますが、早期発見・早期治療することが重要です。自分らしく、明るく楽しい人生を過ごすためには、健康が大切ですので、よろしくお願いします。

ほけんだより

— Health topics —

☎ほけん課 保健係 ☎585-2783
✉hoken@town.kunimi.fukushima.jp

胃カメラ検診のお知らせ

※総合検診で胃バリウム検査を受けた方は、胃カメラ検診を受けられません。ご注意ください。

対象者 (令和6年3月31日時点)	50歳以上の方(昭和49年3月31日以前生まれの方)で偶数年齢の方	
定 員	100人(先着順)	
受診費用 自己負担金	国 保 後期高齢 社会保険	受診費用14,120円のうち 自己負担金：3,000円
	生活保護	受診費用14,120円のうち 自己負担金：なし
申込方法	本人又は家族の方が加入保険者証を持参のうえ、ほけん課(青1番)窓口にて申込み。 ※電話での申し込みはできません。	
申込期間	7月3日(木)～10日(土)(土日を除く) 受付時間：午前8時30分～午後5時15分 ※7月6日(金)は午後7時まで受付窓口を延長します。	
そ の 他	◎役場で申し込み終了後に個人で指定医療機関へ予約していただきます。 ◎検診期間は8月1日(木)～12月2日(土)の予定です。 ◎受診費用は医療機関でお支払いください。	

子宮頸がん・乳がん検診を実施します ～受けてください、命を守る大切な検診～

- ・受診録がお手元に届きましたら、指定医療機関に直接電話で予約をしてください。
- ・受診録は過去5年間(平成30年度以降)に子宮頸がん・乳がん検診を受診された方に、7月上旬迄に配布します。今年度の受診を希望される方で、受診録が届かない方は、ほけん課保健係までご連絡ください。

【対象者・自己負担金】※年齢算出日：令和6年3月31日

	子宮頸がん検診	乳がん検診
対 象 者	20歳以上の偶数年齢の女性	40歳以上の偶数年齢の女性
自己負担金	1,000円	800円
	【無料になる方】 国見町国民健康保険加入の方、後期高齢者医療制度加入の方、生活保護世帯の方、各検診の対象年齢に到達した方(子宮頸がん検診：20歳、乳がん検診：40歳)	

いのちを救う 愛の献血にご協力を！

6月23日(金)は国見町の献血の日です。

場 所	受付時間
(株)荏原風力機械	正午 から 午後1時
公立藤田総合病院	午後2時30分 から 午後5時





国見町図書館からのお知らせや新刊図書情報を掲載しています。ぜひお友達登録してください！



▲LINE登録はコチラから



■国見町図書館臨時休館のお知らせ

観月台文化センター計画停電のため、7月1日(土)・2日(日)は休館いたします。ご理解とご協力をお願いします。
※本の返却は観月台文化センター正面入口に設置の返却ボックスへ投函ください。

子ども移動図書館が始まりました！



国見町図書館では、国見小学校を訪問し、1～3年生を対象に本を貸し出す「子ども移動図書館」を実施しています。

第1回目の活動を5月10日に行い、司書や図書館指導員が選書した絵本や読み物の中から、それぞれが好きな本を選び、借りて行きました。

1年間の研修を受講し教育委員会が認定した、国見町子ども司書の児童2人も活動に参加し、本の貸出処理や児童のサポートを行いました。読書リーダーとして積極的に取り組む姿が見られました。

子ども移動図書館では本の貸出のほか、創作活動や鑑賞教室も実施します。

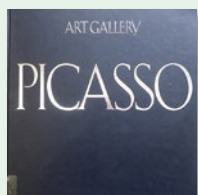
～アートを楽しむ～ 6月に完成したピカソの大作！

1937年の6月4日に完成し、パリ万国博覧会スペイン館で初お披露目された「ゲルニカ」。

この絵はピカソの生まれ育った町、スペイン北部のゲルニカが戦争により焼き尽くされた事件をきっかけに描かれました。

ゲルニカをととして何を伝えたかったのか、参考にした資料によると爆撃に巻き込まれた人々の恐怖や悲しみ、混乱、そして戦争に対するピカソの怒りです。

参考にした2冊の本には「ゲルニカ」に込められた強いメッセージや特別な思いのほか、ピカソの人となり詳しく記載されています。今年はピカソ没後50周年になりますので、ゲルニカの他にもピカソの作品を楽しんでみるのはいかがでしょうか。



■現代世界の美術 12
アート・ギャラリー
ピカソ / 著 神吉敬三 / 編



■はじめての絵画
青柳正規 / 監修

国見町スポーツ少年団 団員募集中！

スポーツ少年団は、青少年の心身の健全な育成に資することを目的に、スポーツをととして地域で活動している団体です。

国見町スポーツ少年団には、剣道・ソフトテニス・バレーボール・ソフトボール・野球の5種目の少年団が登録し、地域のスポーツ団体、学校、町内会などに支えられながら活動しています。

スポーツ少年団への加入は、種目ごとに参加の条件が異なります。スポーツ少年団に興味がある方は問い合わせください。

※スポーツ少年団はメンバーシップ制をとっており、年度ごとの団員・指導者登録が必要です。申込期限は原則7月31日までです。



▲自己紹介ゲームで他学年との交流をしました

みんなで楽しく仲間づくり

少年仲間づくり教室 開講式

地域学校協働本部事業少年仲間づくり教室が5月13日に開講しました。

少年仲間づくり教室は、小学4年生から6年生の子どもたちが、自然体験キャンプやスポーツ体験などさまざまな団体活動を通じて、お互いを思いやる心を育みながら、自ら考え、楽しく学ぶ教室です。

開講式には41人の教室生が参加し、公民館長と国見小学校長から「約束ごとを守りながら、笑顔で活動してください」とあいさつがありました。

引き続き、国見町レクリエーション協会の皆さんを講師に迎え、自己紹介ゲームなどをととして他学年との交流を行いました。教室生たちは初めは少し緊張した様子でしたが、最後に全員で手をつないで円になり、マイムマイムの曲にのせてダンスを楽しみました。



▲1年間ともに過ごす仲間たちと交流を深めました

白熱した試合が繰り広げられました

国見町長杯スポーツ大会

4月23日に総合開会式が行われた「令和5年度国見町長杯スポーツ大会」は、開会式後に家庭バレーボール競技とバウンドテニス競技の2種目が行われ、全11競技が開催されました。

悪天候により順延した競技や、昨年度に引き続き連覇を達成した競技、最後まで順位が決まらず白熱した戦いを繰り広げた競技など、手に汗握る試合が多かった今大会も、5月28日のソフトテニス競技と剣道競技を最後にすべての競技が終了しました。

※各競技の結果は、来月号に掲載予定です。

▶ Lifelong-Learning
生涯学習通信
国見町教育委員会生涯学習課（観月台文化センター）
☎ 585-2676 Fax585-2707
E-mail : shogai@town.kunimi.fukushima.jp

観月台文化センター臨時休館・工事のお知らせ

- ・計画停電のため休館（7月1日(土)・2日(日)）
- ・正面玄関前タイル張替工事(7月末まで)
- ・体育館解体工事（3月末まで）

※ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



▲華麗な音色がホールに響き渡りました

観月台ピアノパーティー

国府弘子ピアノソロコンサート

ジャズピアニストの国府弘子氏による、観月台ピアノパーティーが4月29日に開催されました。

モダンなジャズの音色と軽快なトークで、大変な盛り上がりを見せました。第2部では、映画音楽やビートルズのリクエストを受け付け、絶妙なアレンジを加えながら懐かしい映画音楽や、色褪せない名曲の数々を演奏。ビートルズのリクエストでは、曲に合わせて会場内がハミングであふれ、素晴らしい一体感を醸し出していました。



お知らせ

国家公務員「税務職員採用試験」(高校卒業程度)

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる税務職員を募集しています。国の財政を支える税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか？

申し込み及び詳細については人事院ホームページ(国家公務員試験採用NAV)をご覧ください。

▼受験資格 ①令和5年4月1日において高校卒業後3年を経過していない者及び令和6年3月までに高校を卒業する見込みの者②人事院が①に掲げる者に準ずると認める者

▼受験申込受付期間 6月19日(月)から6月28日(木)まで
▼第1次試験日 9月3日(日) 仙台国税局人事第二課試験研修係
☎022-263-1111
(内線3236)

国民年金の加入手続き等は電子申請が便利です

マイナポータル(マイナンバーカードを利用したオンラインサービス)を利用した国民年金加入手続き等のオンライン申請ができます。オンライン申請には、マイナポータルとねんきんネットの連携が必要になります。詳しくは、年金加入者ダイヤルに問い合わせるか日本年金機構ホームページを確認ください。

▼対象となる手続き 国民年金資格取得、種別変更、国民年金保険料免除、納付猶予・学生納付特例の申請
☎ねんきん加入者ダイヤル ☎0570-003-004
(月～金・午前8時30分～午後7時、第2土曜日・午前9時30分～午後4時)

建設課からのお知らせ

①住宅の耐震診断をしてみませんか？

町では今年度も木造住宅耐震診断者派遣事業を行います。建築士が耐震診断を行い、耐震改修計画を策定しま

☎022-221-2022

減免申請期限を延長します

令和5年度の自動車税種別割に係る減免の申請期限を、6月30日(金)まで延長します。窓口の分散利用・混雑緩和に皆さまのご協力をお願いします。

☎521-2702

消費税のインボイス制度に関する説明会

福島税務署では、消費税のインボイス制度説明会を開催します。説明会は事前予約制により、各回とも定員になり次第、受付を終了します。

【消費税のインボイス制度に関する説明会】
▼日時 7月4日(火)、8月2日(火)、9月5日(火)
※各回とも、①午前10時30分から正午、②午後1時30分から午後3時まで。①は

課税事業者の方向け、②は免税事業者の方向けで、説明内容は各回とも同じです。

▼会場 福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ(福島市曾根田町1-18 MAXふくしま4階)

▼申込先 福島税務署法人課税第1部門
☎503-2417(直通)

【消費税のインボイス制度に関する登録要否相談会】

▼日時 7月28日(金)、8月3日(木)、8月24日(木)、9月12日(火)

※各回とも午前9時から午後4時まで開催、登録要否を検討される免税事業者の方が対象。1人あたり1時間程度、午前9時から午後3時の間で希望の時間帯をお知らせください。

▼会場 福島税務署(福島市森合町16-6 2階大会議室)

▼申込先 福島税務署個人課税部門
☎534-3121(代表) 音声ガイダンスに沿って『2』を選択してください

国民年金保険料の免除申請受付

収入が少ないなどの理由で国民年金を納められない方のために免除制度や納付猶予制度があります。

免除制度には全額免除のほか、4分の3、2分の1、4分の1を納付すると残りの保険料が免除となる一部免除や納付猶予制度があり、本人、配偶者、世帯主それぞれの前年の所得などで審査されます。また、免除などを受けた過去の期間の保険料は10年以内であれば後から納めることもできます。令和5年度の免除などの申請受付は7月からとなりますので、免除などを希望される方は、マイナンバーまたは基礎年金番号通知書などを持参のうえ、ほけん課国保係で申請してください。

☎585-2785
東北福島年金事務所 ☎535-0141

④屋根耐風改修事業

住宅の瓦葺屋根に対し、全面葺替え、屋根材を固定する改修を行う場合の改修費用の一部を補助します。

▼対象 ①令和4年度福島県沖地震で被災し、罹災証明書がある方②瓦葺の屋根全体を「瓦の緊結方法の新基準」により改修するまたは、金属屋根などに改修する方

▼補助金額 対象工事にかかる経費の23%(補助上限額55万2千円)

▼申込期限 ①から④はすべて11月30日(木)までに建設課管理係へ申し込み。※詳細については建設課へ相談ください。

☎585-2972

災害に備えよう、「マイ避難」

災害から命を守るため、日頃から一人ひとりが適切な避難行動について考え、備えることⅡ「マイ避難」について、日頃から考えておくことが大切です。お住まいやお勤め先の市町村が作成するハザードマップで

自宅や職場の災害リスク、避難場所を把握し、災害時の避難行動を確認しましょう。また、それぞれの家族構成、自宅や職場の災害リスクにより避難行動は異なるので、自身の状況にあった「マイ避難シート」を作成し、災害に備えましょう。

令和5年度給水装置工事主任技術者試験

令和5年度給水装置工事主任技術者試験が次のとおり行われます。

▼日程 受験願書受付期間 6月5日(月)から7月7日(金) 試験日 10月22日(日)

▼受験料 2万1300円

▼受験資格 給水装置工事に関して3年以上の実務の経験を有する方

申込方法及び詳細については公営財団法人給水工事技術振興財団ホームページをご覧ください。

☎03-6911-2711

広告掲載

広告掲載

6/9	金	・広報くにみ 6月号発行日 ・いきいきサロン第8・9（午後1時30分～）
10	土	・子ども司書講座「開講式」
11	日	
12	月	
13	火	・子ども移動図書館（1年生）
14	水	・いきいきサロン第3（午後1時30分～） ・農業委員会（午後1時30分～） ・戸籍係窓口延長（午後7時まで）
15	木	・いきいきサロン第2（午後1時30分～） ・子ども移動図書館（3年生）
16	金	・いきいきサロン大木戸（午後1時30分～） ・観月台カレッジ全体学習「交通安全教室」 ・国見っ子わんぱく広場「ニュースポーツ体験」 ・子育てリフレッシュ教室②
17	土	・国見町消防団定期点検 ・町民ハイキング「雄国沼」
18	日	
19	月	・いきいきサロン泉田下（午後1時30分～）
20	火	・いきいきサロン山根（午前10時～） ・徳北・第7（午後1時30分～）
21	水	・いきいきサロン第1（午後1時30分～） ・ニコニコ相談会 ・心配ごと相談（午前9時～正午） ・戸籍係窓口延長（午後7時まで）
22	木	・1歳6か月児健診 ・図書館事業「大人の文学講座①」 ・いきいきサロン泉田中（午後1時30分～）
23	金	・いきいきサロン光明寺（午後1時30分～）
24	土	・少年仲間づくり教室「タグラグビー教室」 ・マイナナンバーカード休日臨時相談窓口
25	日	・結婚世話やき人月例相談会（午後1時～午後3時）
26	月	・いきいきサロン板橋（午前10時～） ・高城（午後1時30分～）
27	火	・いきいきサロン石母田（午後1時30分～） ・子育てリフレッシュ教室③
28	水	・いきいきサロン貝田（午後1時30分～） ・戸籍係窓口延長（午後7時まで） ・3・9か月児健診 ・ブックスタート
29	木	・いきいきサロン大枝（午前10時～） ・いきいきサロン源宗山（午前10時～） ・キッズシアター
30	金	
7/1	土	・観月台文化センター臨時休館日
2	日	・観月台文化センター臨時休館日
3	月	・いきいきサロン川内（午後1時30分～） ・観月台文化センター休館日
4	火	・いきいきサロン内谷・鳥取（午後1時30分～）
5	水	・いきいきサロン太田川（午後1時30分～） ・戸籍係窓口延長（午後7時まで）
6	木	・いきいきサロン塚野目（午後1時30分～） ・いきいきサロン第4（午後1時30分～） ・観月台カレッジ全体学習「健康セミナー」
7	金	・子ども司書講座「本の分類」
8	土	・子ども司書活動「新刊本の処理を学ぼう」
9	日	
10	月	・いきいきサロン泉田下（午前10時～）

7月の休日当番医（診療時間：午前9時～午後5時）

当番日	医療機関名	電話番号
2日(日)	北福島医療センター （伊達市箱崎東23-1）	☎ 551-0551
9日(日)	（医）かしの木内科クリニック （伊達市岡前20-6）	☎ 551-1411
16日(日)	（医）神岡クリニック （伊達市霊山町掛田中町11-1）	☎ 586-1318
17日(祝)	（医）村上医院 （国見町藤田北11-1）	☎ 585-2152
23日(日)	（医）桑名医院 （伊達市片町41）	☎ 583-3024
30日(日)	こばやし子ども・内科クリニック （伊達市梁川町内町47）	☎ 577-0663

【休日救急歯科診療】（日・祝）
受付時間：午前9時から午後4時30分まで
場所：福島市保健福祉センター（福島市森合町10番1号）

※当番医が変更になる場合や診療していない科もありますので、事前に電話で確認のうえ、受診してください。

戸籍の窓口

4月21日～5月20日受付分

【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

● 結 婚 お め で と う ●

阿部 卓也さん （板 橋 ）
原田 知春さん

● おくやみ申し上げます ●

後藤 秀明さん	88	（ 本 町 ）
大内 ハルさん	97	（ 第 1 2 ）
阿部 次男さん	75	（ 大 木 戸 ）
蓬田 幸子さん	86	（ 第 9 ）
菊地トシ子さん	93	（ 第 1 1 ）
松浦力ネ子さん	89	（ 大 木 戸 ）
内池 育男さん	92	（ 宮 町 南 ）
渋谷 キンさん	98	（ 光 明 寺 ）
後藤 トミさん	100	（ 川 内 ）

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

令和5年4月30日現在

※住民基本台帳人口

人口	8,290 人	（－13）
男	3,993 人	（－7）
女	4,297 人	（－6）
世帯	3,380 世帯	（＋4）

今月の納期限は 6 月 30 日(金)

町税は『口座振替』や『地方税お支払サイト』からの納付が大変便利です

町県民税（普通徴収）【第1期】

☎ 税務課課税係 ☎ 585-2778 税務課収納係 ☎ 585-2780

- ・固定資産税（第1期）や軽自動車税（種別割）の納め忘れがないか確認しましょう。
- ・振替口座の預貯金残高を前日までに確認してください。
- ・コンビニエンスストアやスマートフォン決済アプリからの納付も可能です。詳しくは町HPをご確認ください。

町営住宅・定住促進住宅の
空室状況をお知らせします

（令和5年5月末）

定住促進住宅	空室なし	滝山団地	1部屋
子育て住宅	空室なし	板橋南団地	空室なし

☎ 建設課管理係 ☎ 585-2972

「沼の底まで潜っていくと大きな家があったので、恐る恐る入ってみると部屋でおしのさんが機を織っていました。『私と帰りましょう』と声を掛けると、泣きながら『私は沼の主にみそめられてしまい、妻になってしまいました。もう戻ることはできません』『夫が寝ている座敷をそっと覗いたら、大きな赤べこがいびきをかいて寝ていたのです』と言われ、仕方なく戻ってきました」ということでした。さらには『何か地元の役に立つよう、日照りが続いた時には皆でここに来てください、そうすれば雨を降らせましょう』とも言ったそうです。

それからというものの、日照りの時は半田沼に行っておしのさんに雨乞いをする、近いうちには必ず雨が降ると伝えられています。

国見の民話
かるた

【第二回】
半田沼の赤べこ
(その二)



広報くにみ & 町ホームページに
広告を掲載してみませんか？

町では、広報くにみや町ホームページに掲載する有料広告を募集しています。
詳しくは問い合わせください。

広報くにみ

1 枠（縦 45≒ _リ ×横 174≒ _リ ）	12,000 円 / 1 回
半枠（縦 45≒ _リ ×横 84≒ _リ ）	6,000 円 / 1 回

ホームページ

1 枠（トップページ下段）	6,000 円 / 月
---------------	-------------

☎ 総務課秘書広報係 ☎ 585-2113

広告掲載

夢に向かって

音楽の楽しさを伝えたい——

佐藤 由紀乃 さん（県北中3年）

私の夢は、中学校の音楽の先生になることです。

音楽の先生になりたいと思ったきっかけは、入部している吹奏楽部顧問の遠藤先生の指導がとても分かりやすく、『私も先生のような指導をしてみたい』と思い、そんな先生に憧れを持ったからです。また、小さい頃から音楽が好きで、小学校低学年から音楽関係の仕事には就きたいと思っていたこと、小学校5年生からピアノを習い始めて、より音楽が楽しく、好きになったこともきっかけのひとつです。部長として、部員一人ひとりの考えを汲み取ってまとめることは大変ですが、誰かに頼ってもらえることがとてもうれしいです。厳しい練習でつらいと思う時もあるけれど、先生に教えていただいた『初心に戻って考える』ことを心掛けて頑張っています。

まずは、高校入学に向けて受験勉強を頑張ります。先生になるためには、その先も目指さなくてははいけないので、夢を叶えるために継続して努力したいと思います。また、音楽は世界中どこでも伝わる言語です。海外に行くなら英語も必要になるので、英語学習にも力を入れたいです。

夢が叶ったら、生徒一人ひとりが真剣に音楽と向き合えるような指導をしたいです。他の教科には好き嫌いがあって、嫌いな人に好きになってもらうことはなかなか難しいと思います。でも、音楽が本当に嫌いという人はいないはず。そんな人たちがもっと音楽を好きになって、楽しんでもらうための手助けができるようになりたいです。



吹奏楽部部長のほか、生徒会副会長も務める佐藤由紀乃さん。「緊張するけれど、演奏の始まりと終わった瞬間の感覚。それがとても心地良くて楽しいんです！」と、笑顔で話してくれました。



町長コラム



ま 真 こらむ

【第23回】

水害を防ぐために。町村の苦悩

「下流域の人に『遊水地って何?』と言われ、我々との意識の差を感じた。鏡石の予定地には、ほ場整備して間もない農地も含まれる。農地の買収価格は示されたが宅地は未定」と鏡石町長。「移転対象の村民は大半が高齢者。下流域の人は事業受け入れを苦渋の決断と理解を」と玉川村長。「良好な田園風景が一変する。町のアイデンティティが揺らぐ。この判断が子や孫の代以降も残り、検証されることになる」と矢吹町長。これらは、阿武隈川上流改修促進期成同盟会の会議での発言。

令和元年東日本台風では、阿武隈川流域の市町村に大きな被害が出た。国見町も県北浄化センターや家屋、田畑が水没。復旧には長い時間と努力が必要で、今も途上だ。

この後、国と県は「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」を作り、下流域の水害を防ぐために鏡石町、玉川村、矢吹町に一時的に阿武隈川の水を引き入れる遊水地を整備する事業を計画。鏡石町は130ha・70世帯、玉川村は120ha・70世帯、矢吹町は100ha・20世帯が対象。総面積は約350ha。森江野地区の全農地とほぼ同じ。

会議の後、鏡石町長と話す。言葉と言葉の間に、阿武隈川流域住民の命と財産を守る大切さはわかるが、なぜ私たちが遊水地を引き受けなければならないのかという葛藤、移転後の暮らしの不安、補償交渉と住民合意の難しさ、そしてこの事業が下流域の住民に十分理解されていないことへの思いが感じられた。

帰路、かつて県北浄化センターを受け入れた徳江地区の人たちを想像した。そして梅雨に向かう国見町の防災を考えた。

引 地 真

